



古志原小学校だより

令和5年度No.15

# えがおいっぱい

1月12日

(文責 校長 小林 敏朗)

## 新年あけましておめでとうございます

旧年中は本校の教育活動にご理解・ご協力、そして多大なるご支援をいただきましたこと、厚くお礼申しあげます。今年も古志原っ子一人一人の成長をしっかりと促し、支えていきたいと考えています。今年「辰年」です。辰（龍）のごとく、子どもたちには上へ上へ、ぐんぐん伸びて行ってほしいと思います。今年も変わりませず、よろしくお願いいたします。

## 始業式の話から・・・「0学期」「ありがとう学期」

1月9日(火)から3学期が始まり、9日の朝、体育館で始業式を行いました。その始業式では次のような話をしました。

新年になりました。新年のあいさつをしましょう。あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、今日から3学期が始まります。3学期は1年の中でも特別の意味がある学期です。校長先生から、そんな特別な3学期にがんばってほしいことを2つ話します。

一つ目。3学期は1年間のまとめの学期です。そして、次の学年の準備の学期です。「□年生の0（ゼロ）学期」です。

1年生にとっては、2年生のゼロ学期

2年生にとっては、3年生のゼロ学期

3年生にとっては、4年生のゼロ学期

4年生にとっては、高学年の仲間入り・5年生のゼロ学期

5年生にとっては、最高学年・6年生のゼロ学期

6年生にとっては、中学校生活に向けてのゼロ学期

4月からは一つ学年が上がり、新しい学年に向けての大事な準備の学期です。2学期終業式で「『令和6年はこれをがんばる』ということを考えてきてください」と言いましたが、考えてきましたか？「新年のめあて・目標」「今年は、これをがんばろう」ということです。「自分で決めて、自分でやってみる・やろうとする」ことで、みなさんは大きく成長します。次の学年に向け、一人一人が考えてきた「令和6年はこれをがんばろう」ということに取り組んでほしいと思います。

二つ目。3学期は、今の学年を終える学期です。この1年の自分の成長のために関わった人やものに感謝しながら生活してほしいと思います。そこで、3学期は「ありがとう学期」にしてほしいと思います。

ありがとうの気持ちは言葉や行動に表れます。ありがとうの気持ちを言葉や行動で伝えてください。例えば、学校に来たときに下靴をきちんと靴箱にそろえる、引き出しの中をきちんと整頓しておく、教科書やノートを大切に扱う、ノートにいい字を書く、食べ物の命を大切にいただく、学校の校舎を心を込めてきれいに掃除する。これらはすべて、みなさんを成長させてくれているものです。そして、みなさんをいつも見守り支えてくださっている人。登下校時に見守ってくださっている見守り隊、地域のみなさん、給食を作って届けてくださっているみなさん、みなさんのことを大切に思い、誉めたり叱ったりしてくれる先生方へ、「ありがとう」の気持ちを伝えてください。3学期は「ありがとう学期」としてがんばってほしいと思います。

この3学期がみなさんにとって素晴らしい「0（ゼロ）学期」そして「ありがとう学期」になるよう先生たちはみなさんのことを応援していきます。先生たちはみなさん一人一人の応援団です。

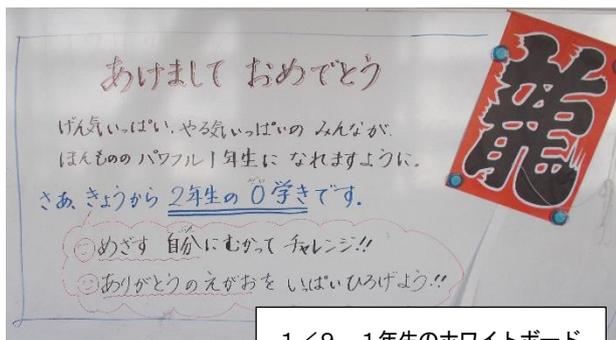


子どもたちに3学期は「0（ゼロ）学期」「ありがとう学期」という話をしました。「0学期」というのは、1年間のまとめの学期であると同時に、次の学年に向けての準備の学期という意味です。「まとめ」と「準備」の両方がしっかりとできるように支援をしていきたいと思っています。また「ありがとう学期」については、「自分の生活や成長を支えるものや人に対して感謝の気持ちを持ちましょう」ということです。我々の生活の中でもですし、子どもたちの成長を支える中で、多くのものや人にお世話になっています。感謝の気持ちをもって生活してほしいと思います。そして、周囲の人にお世話になったときにちょっとしたことでも「ありがとう。」「助かりました。」「お世話になりました。」「手伝ってくれてうれしかったよ。」などと言えること、言葉のキャッチボールができるといいなと思います。子どもたちの3学期、そして「0学期」「ありがとう学期」を我々教職員全員で支えていきたいと思っています。

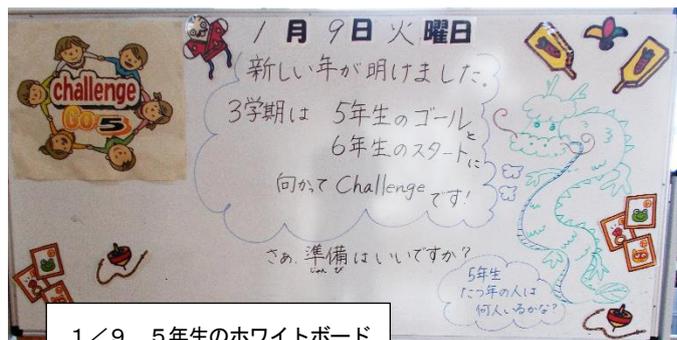


1/9 始業式の様子

始業式に関わってもう少しお伝えします。今回の始業式、全体的に子どもたちの話を聞く態度・姿勢がとてもよくなってきたと感じました。静かに聞くこともよくできていました。そして始業式後に、ある6年生の子が「校長先生、去年の3学期の始業式でも『0学期』の話をしてください。」と笑顔で言いに来てくれました。その子は、話をよく聞き、覚えてくれていたのだなとうれしく思いました。



1/9 1年生のホワイトボード



1/9 5年生のホワイトボード

## そうじの様子から・・・

そうじの後にゴミが集められたまま残っていたり、十分に拭いたり掃いたりできていなかったり、本校の課題の一つとして「そうじ」が挙げられます。学校だより第14号でも、そうじについて触れ「そうじをがんばっている子どもたちが増えてきたように感じます。しかし課題もあります。3学期以降、そうじの指導に力を入れていこうと考えています。」ということを書きました。実際に熱心にそうじをする子が増えてきたことは実感としてあります。そうじが上手にできるには「そうじをしてきれいにしよう」という気持ちと、掃除用具も含めた環境を整えることと考えています。そこで、教育後援会のご協力をいただき自在ほうきを購入し、今学期からそれを利用して子どもたちはそうじをしています。おかげさまで、階段や廊下等に落ちているゴミも随分と少なくなってきたと感じます。本当にありがとうございます。今後は一方で、「そうじをして校舎をきれいにしよう」という気持ちの部分をさらに耕していきたいと考えています。



本校ホームページのQRコード